

報道機関各位

授業参観での ICT を活用した リンゴの農業体験学習の成果発表会開催について

岩手県立大学ソフトウェア情報学部情報システム構築学講座では、教室にしながら農作物の様子や農作業を観察できる情報システムを開発し、平成 23 年度から赤沢小学校 3 年生のリンゴの農業体験を支援してきました。このシステムは、農地に設置した Web カメラで撮影された農作物や農作業の様子の写真を、モバイル WiFi ルータを経由してサーバに自動的に蓄積しています。

このたび、赤沢小学校 3 年生の授業参観で、5 月から行っている農業体験学習の成果を発表することになりました。発表会では、岩手県立大学の学生も協力し、今年度新たに開発した農業体験学習における振り返り支援システムを活用して記録された作物の生育の変化や子供達が体験した農作業の内容を写真や映像を用いながら発表します。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ぜひとも当日のご取材及び報道のご配慮をよろしくお願いいたします。

記

授業参観での ICT を活用したリンゴの農業体験学習の成果発表会

- 日時：平成 29 年 2 月 17 日(金) 13:30～14:15
- 場所：岩手県紫波町立赤沢小学校 3 階多目的ホール
- 参加予定者：赤沢小学校 3 年生 4 人、3 年生の保護者、3 年生の担任、りんご農園提供農家、県立大学の学生 2 人・教員 1 人

経 緯

- 平成 23 年 5 月から岩手県紫波町の農地に Web カメラを設置し、遠隔地（教室）から農地（リンゴの木）の様子を確認できる農地モニタリングシステム (<http://kansatu.net>) を開発・運用している（図 1～3）。
- 平成 23 年度からは紫波町立赤沢小学校の農業体験学習で農地モニタリングシステムを利用した授業を継続して行っている。
- 平成 24 年度には、農地に人感センサ付き Web カメラを新たに設置し、人感センサの検知信号を受信してから 100 秒間、毎秒 1 枚自動撮影できるシステムへと拡張し（図 4、5）、農作物だけでなく農作業の自動記録も開始している。

本成果発表会の特徴的な点

- 児童が振り返り支援システム（図 6、7）を活用して記録した農業体験の内容やリンゴの変化について発表する。
- リンゴの実の周囲の長さを定期的に 5 回（7 月 1 日、9 月 1 日、9 月 16 日、10 月 11 日、11 月 21 日）測定した結果から、リンゴの実の位置によって生育に違いがあったことを発表する。
- 児童の保護者が参加する授業参観では初めて ICT を活用した授業を行う。

<本件の問い合わせ先> 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 高木正則
電話 019-694-2566 Email: takagi-m@iwate-pu.ac.jp

<別紙資料>



図1 農地モニタリングシステムの画面例

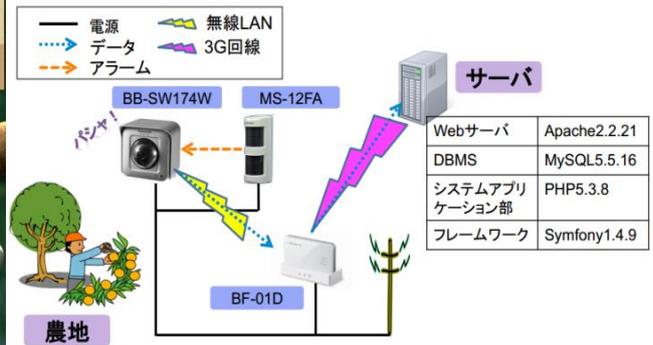


図2 農地モニタリングシステムのシステム構成



図3 農地の写真（紫波町）



図4 人感センサ付き Web カメラ



図5 農作業の閲覧画面



図6 振り返り支援システムのトップ画面

みんなの振り返りシートが見れるよ！

名前	体験（授業）で行ったこと	体験の時に教えてもらったこと	感想	写真
伊藤直哉	りんごのしゅうかく	りんごのとりがた→りんごをよこにする	しゅうかく量：113kg500g とってみて113kg500gとれていると思っていませんでした。いっぱいとれてすごかったです。蜜がはっていて、おいしいです。みずみずしくておいしいです。	
吉田 楓	りんごのしゅうかく	しゅうかくのしかた：よこにむけてと	はかってメモしらない大きい人もやった全部で113kg500g りんごをとって、とるときの「ポキッ」という音がよかったです。	

図7 振り返りシートの閲覧画面